

第5回 完成検査の改善・合理化に向けた検討会

1. 日 時：令和2年9月2日（水）13:00～15:00
2. 場 所：中央合同庁舎2号館12階国際会議室
3. 出席者：大聖委員、竹内委員、廣瀬委員、上條委員、山田委員、深井委員、
萩原委員、関口委員、真壁委員、舘野委員、大室委員、富樫委員
4. 議事（概要）

本年4月に策定された「型式指定制度における完成検査の改善・合理化の方向性」中間とりまとめを踏まえ、本年度の検討事項、本年度実施する調査内容及び本年度の検討会の進め方等を話し合い、以下の通り整理が行われた。

➤ 自動化検査の導入促進

- ◇ （研）新エネルギー・産業技術総合開発機構において実施されている「規制の精緻化に向けたデジタル技術の開発」の「AIを活用した自動車の完成検査の精緻化・合理化に係る調査」の調査動向も踏まえつつ、自動化検査に関する要件整理、導入課題の明確化を実施する。

➤ 工程内検査の運用

- ◇ 各メーカーにおける工程内検査の新規取組み・導入状況調査を昨年引き続き実施する。

➤ 先進安全自動車の完成検査のあり方

- ◇ 先進安全技術に対する、各メーカーの品質保証の差異を整理する。
- ◇ 将来的な検査手法の確立に向けて、各メーカーで実施されている検査の事例を整理する。

➤ 国際調和の観点からの型式指定制度等のあり方

- ◇ 日本の認証制度を引き続き信頼性高く合理的なものとしつつ、国際的な調和も考慮するため、欧州における品質管理の審査方法を調査する。

➤ 市場情報を踏まえた品質管理の精緻化

- ◇ 各メーカーの車両情報及び市場不具合情報の活用事例を、車検時のデータ活用など国内外の具体的な実施内容も考慮して調査する。

➤ 監査の合理化

- ◇ 効率的かつ効果的なリスク評価及び監査手法の検討にあたり、諸外国の遠隔車検監視事例も参考に調査し、実施可能な手法を検討する。

以上